

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-62455(P2011-62455A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-217810(P2009-217810)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月14日(2012.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立後、開始条件の成立に基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、予め決められている当選条件が成立した場合に前記可変表示装置に特定表示結果を導出表示した後、遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する遊技機において、

予め決められた第 1 数値範囲の当落乱数を更新する当落乱数更新手段と、

予め決められた第 2 数値範囲の演出乱数を更新する演出乱数更新手段と、

前記始動条件の成立時に前記当落乱数更新手段が更新する前記第 1 数値範囲の当落乱数のうちいずれかを取得するとともに前記演出乱数更新手段が更新する前記第 2 数値範囲の演出乱数のうちいずれかを取得する乱数取得手段と、

該乱数取得手段が取得した前記当落乱数に基づいて少なくとも前記当選条件の成立時に成立する演出条件が成立するか否かを前記開始条件の成立以前に判定する演出条件判定手段と、

該演出条件判定手段の判定結果及び前記乱数取得手段が取得した前記演出乱数に基づいて前記複数種類の図柄情報の変動表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでに前記可変表示装置にて実行される演出態様を、前記開始条件の成立以前に特定する入賞時演出特定手段と、

前記乱数取得手段が取得した前記当落乱数及び前記演出乱数を、取得した順序を特定可能に所定数まで記憶可能な乱数記憶手段と、

前記開始条件が成立したとき、前記乱数記憶手段に記憶される前記当落乱数及び前記演出乱数のうち当該開始条件が成立した当落乱数に基づいて前記当選条件が成立するか否かを判定し、前記当選条件が成立すると判定した場合には前記可変表示装置の表示結果を前記特定表示結果に決定する一方、前記当選条件が成立しないと判定した場合には前記可変表示装置の表示結果を前記特定表示結果とは異なる非特定表示結果に決定する開始時当落判定手段と、

前記開始条件が成立したとき、前記開始時当落判定手段の判定結果及び当該開始条件が成立した演出乱数に基づいて前記演出態様を決定する演出態様決定手段と、

該演出態様決定手段が前記演出態様を決定したとき、前記可変表示装置を表示制御して当該演出態様を実行し、前記開始時当落判定手段の判定結果に応じた表示結果を導出表示

する表示制御手段と、を備え、

前記演出態様は、前記当選条件の成立期待度に応じて実行される割合が異なるように設定される複数種類の演出態様を有し、

前記入賞時演出特定手段によって前記複数種類の演出態様のうち前記当選条件の成立時に実行される割合が高い特別演出態様に特定された場合に、当該特別演出態様を実行する以前に前記当選条件の成立する割合が高いことを示唆する先行演出を実行する先行演出実行手段をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技盤の前面に形成され、遊技球が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域に配置される複数種類の入賞口と、を備え、

前記始動条件は、前記複数種類の入賞口のうち始動口への遊技球の入賞を契機として成立することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技者の操作に応じて前記遊技領域に向けて遊技球を打ち込む発射手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、始動条件の成立後、開始条件の成立に基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、予め決められている当選条件が成立した場合に前記可変表示装置に特定表示結果を導出表示した後、遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する遊技機において、

予め決められた第 1 数値範囲の当落乱数を更新する当落乱数更新手段と、

予め決められた第 2 数値範囲の演出乱数を更新する演出乱数更新手段と、

前記始動条件の成立時に前記当落乱数更新手段が更新する前記第 1 数値範囲の当落乱数のうちいずれかを取得するとともに前記演出乱数更新手段が更新する前記第 2 数値範囲の演出乱数のうちいずれかを取得する乱数取得手段と、

該乱数取得手段が取得した前記当落乱数に基づいて少なくとも前記当選条件の成立時に成立する演出条件が成立するか否かを前記開始条件の成立以前に判定する演出条件判定手段と、

該演出条件判定手段の判定結果及び前記乱数取得手段が取得した前記演出乱数に基づいて前記複数種類の図柄情報の変動表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでに前記可変表示装置にて実行される演出態様を、前記開始条件の成立以前に特定する入賞時演出特定手段と、

前記乱数取得手段が取得した前記当落乱数及び前記演出乱数を、取得した順序を特定可能に所定数まで記憶可能な乱数記憶手段と、

前記開始条件が成立したとき、前記乱数記憶手段に記憶される前記当落乱数及び前記演出乱数のうち当該開始条件が成立した当落乱数に基づいて前記当選条件が成立するか否かを判定し、前記当選条件が成立すると判定した場合には前記可変表示装置の表示結果を前記特定表示結果に決定する一方、前記当選条件が成立しないと判定した場合には前記可変表示装置の表示結果を前記特定表示結果とは異なる非特定表示結果に決定する開始時当落判定手段と、

前記開始条件が成立したとき、前記開始時当落判定手段の判定結果及び当該開始条件が成立した演出乱数に基づいて前記演出態様を決定する演出態様決定手段と、

該演出態様決定手段が前記演出態様を決定したとき、前記可変表示装置を表示制御して当該演出態様を実行し、前記開始時当落判定手段の判定結果に応じた表示結果を導出表示

する表示制御手段と、を備え、

前記演出態様は、前記当選条件の成立期待度に応じて実行される割合が異なるように設定される複数種類の演出態様を有し、

前記入賞時演出特定手段によって前記複数種類の演出態様のうち前記当選条件の成立時に実行される割合が高い特別演出態様に特定された場合に、当該特別演出態様を実行する以前に前記当選条件の成立する割合が高いことを示唆する先行演出を実行する先行演出実行手段をさらに備えることを特徴とする。

また、請求項 2 の発明においては、遊技盤の前面に形成され、遊技球が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域に配置される複数種類の入賞口と、を備え、

前記始動条件は、前記複数種類の入賞口のうち始動口への遊技球の入賞を契機として成立することを特徴とする。

また、請求項 3 の発明においては、遊技者の操作に応じて前記遊技領域に向けて遊技球を打ち込む発射手段を備えることを特徴とする。